

～誰もが安心して暮らせる地域を目指して～ 福祉のネットワーク永山だより

第57号
令和7年6月発行

令和7年度第1回福祉のネットワーク永山定例会

永山を知り永山を変える話し合い

福祉のネットワーク永山の令和7年度第1回定例会が5月17日、諏訪地区市民ホール会議室で開かれた。テーマは「地域を知る（資源マップづくり）」。自治会・管理組合、サロンなどを代表して27人が参加、4グループに分かれて用意したマップに「地域住民が交流できる場所」を付箋に記して貼り、それぞれ「良い点」、「気になる点」、「できそうなこと(取り組みそうなこと)」について話し合った。

地域住民が交流できる場所

- ・サロン、元気アップ体操、近トレ、ラジオ体操など高齢者が活動する場所が多い。
- ・犬を連れた人同士の交流は、情報交換の場となっている。また、「わんわんパトロール」も行っている。
- ・集会所、中部地域包括支援センターの交流スペース、UR永山管理事務所のEラウンジなどは交流の場として活用できる。相談できる窓口もある。
- ・瓜生小の見守りなど子どものケアも行われている。

資源マップづくり

良い点

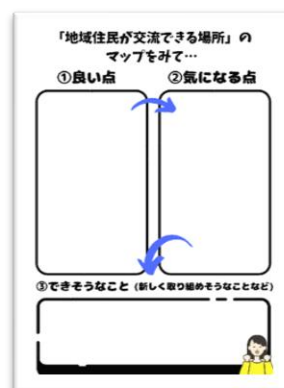
- ・サロンなどは会話が弾み交流できて仲間が増える。体操、近トレなどは健康にもよい。
- ・永山南公園は子どもや家族が自由に遊べる場。ボール遊びをすることもできる。
- ・世代間交流につながるお祭りが多い。

気になる点

- ・空き家が多く治安が心配。
- ・独居の高齢男性が多い。見守りが必要だが、なかなか交流ができていない。
- ・お茶やランチができる場所が少ない。
- ・永山商店街はシャッター店が多い。
- ・バリアフリーになっていないところが多い。

できそうなこと

- ・男性がもっと各種集いに参加するよう声をかける。
- ・世代間交流の場を設ける。日曜日であれば参加できる50代の人がいる。
- ・永山商店街で多世代が交流できる場づくりをする。
- ・地域資産を活用することで交流につながるのではないか。
(梅・桜の木、ホテルなど)



マップを基に整理した

瓜生小学校1年生下校見守り

地域活動の ご紹介♪

瓜生小学校の新1年生の「下校見守り」を4/22～5/1の間で行った。今年の新1年生は32名、学童クラブに行く22名を除く10名を、それぞれ地域のボランティアが付き添って下校した。

「下校の見守りありがとうございました。
今後ともよろしくお願いします」
瓜生小学校1年担任



バス旅の足利学校・鏝阿寺・あしかがフラワーパーク

地域活動の ご紹介♪

「福祉のネットワーク永山」が5月13日に行ったバス旅に41人が参加しました。行先は足利市にある史跡足利学校、国宝の鏝阿寺（ばんなじ）・あしかがフラワーパーク。晴天に恵まれ、半日を愉しみました。

午前11時頃、バスから歩いて史跡足利学校へ。日本最古の学校。三つの門をくぐり孔子廟へ。孔子の座像などを見た後、隣接の茅葺屋根の方丈・書院・庫裡へ。さらに歩いて北にある鏝阿寺（ばんなじ）へ。国宝で京都に室町幕府を開いた足利尊氏の先祖が鎌倉時代初期に創建したと伝えられています。

再びバスに乗って「花と光の楽園」を謳う「あしかがフラワーパーク」へ。昼の弁当を食べた後、広い園内を歩きました。ローズガーデンと名づけられたエリアのバラは盛りでした。池がいくつもあり、木道を歩くと、人工の小さな島が浮び、バラを咲かせていました。

午後3時頃、帰途へ。高速道路に入った後、バス旅恒例のビンゴゲームを楽しみ、午後5時半には永山に帰りました。



<ま・ち・か・ど>

福祉亭の庄子さんにフードパントリーについて伺いました。フードパントリーでの提供品は、大多数がフードバンクからの品物であるが、他に東京都・多摩市の助成金による購入品、多摩市社会福祉協議会からの提供品などで賄われている。毎週木曜日は野菜、果物等の生鮮品を提供し、翌金曜日はお菓子や乾麺、レトルト食品などを提供している。

対象者は、子育て家庭、ひとり親家庭などで木曜日は約50家族、金曜日は約75家族に提供している。自分で取りに来られる方が大多数であるが、事情により配達をすることもある。

利用者にはライン登録（加入自由）をして頂き、その日の提供品の情報を送っている。ラインの登録者は約110名で15:30～17:00の間に実施している。

フードパントリーのスタッフは男性3人で行なっているが、福祉亭のスタッフも手伝いをしてやっと廻しているのが実情である。

